

校長室だより

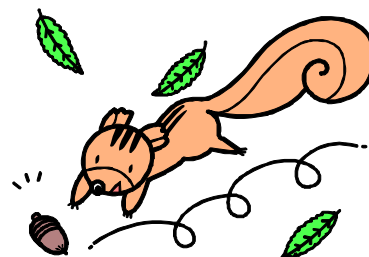
平成18年11月2日

第 102 号

榎並っ子

大阪市立榎並小学校長 小林 恵子

学びの秋



暑くもなく、寒くもなく、学習するのに最適の季節となりました。子どもたちは、爽やかな気候の下、落ち着いて学習に取り組んでいます。

さて、本校では、「わかる、できる、楽しい算数科学習をめざして—基礎・基本の定着を図る指導の工夫—」を研究主題として、本年度から算数科の研究を進めています。

そこで、10月13日に4年生の授業、10月27日に3年生の授業が、それぞれの学級で行われ、子どもたちにとって、「わかる、できる、楽しい算数科学習」について、研究を深めました。

= 4年生の授業 =

単元名は「わり算（2）」で、目標は、①除数が2位数の計算の仕方がわかり、その筆算ができる②（被除数）＝（除数）×（商）＋（あまり）の関係をまとめそれを用いて検算することができる③除数、被除数に同じ数を乗除しても商が変わらないことがわかるです。

当日は、「商の見当をつけ、修正しながら正しい商を考えることができる。（2位数）÷（2位数）で、仮商修正のある計算ができる。」という目標で、授業が行われました。

まず、 $89 \div 28$ の筆算の仕方を考えるという学習課題が、子どもたちに提示されました。子どもたちは、既習学習（ $86 \div 21$ ）をもとに、与えられた式の商について、見通しを立て商を求めていきます。

与えられた学習課題に、真剣に取り組み、また、友だちの考えにも耳を傾け、一人一人の子どもが、しっかり学ぶことができた授業でした。



= 3年生の授業 =

単元名は「あまりのあるわり算」で、目標は、①乗法九九を1回適用する除法で、あまりのある場合の計算の仕方がわかる②除数、商、あまり、被除数の関係を理解し、除法の計算の確かめができるです。

当日は、「あまりのあるわり算に興味をもち、その意味と計算の仕方を理解する。あまりのあるわり算の式のかき方、答えの表し方を知る。」という目標で、授業が行われました。まず、 $20 \div 6$ の計算の仕方を考えるという学習課題が子どもたちに提示されました。子どもたちは、既習学習($20 \div 5 = 4$)をもとに、見通しを立て計算をしました。しかし、既習学習の時と違い、わりきれません。そこで、子どもたちは、絵やブロックを使ったり、6の段の九九を使ったりして、答えを求めるために一生懸命考えました。3年生にとって、あまりのあるわり算ははじめての学習でしたが、意欲的に取り組み解決していく子どもたちの態度が印象的な授業でした。



交通安全指導

— 交通事故の防止について学ぶ —

10月26日、本校の講堂で城東警察署の交通課の方に来ていただき交通安全指導が、低学年(1、2、3年生)と高学年(4、5、6年生)に分かれて行われました。子どもたちは、交通事故の防止について学ぶことができました。

【低学年】最初に、「今年9月以降、みなさんぐらいの子どもが、4人も交通事故で亡くなっています。」という話がありました。次に、信号のある横断歩道の渡り方やいろいろな標識について説明がありました。時々子どもたちにも標識について質問されていましたが、多くの子が、よく知っているということがわかりました。最後に、ちびまる子ちゃんを主人公としたビデオを見て、正しい自転車の乗り方や集団登校の仕方を学びました。

【高学年】最初に、「今年、大阪で、自転車に乗っていて亡くなった人が40人、子どもが2人亡くなっています。」という話がありました。次に、自転車に乗る前にいろいろ点検することが大切なこと、また、自転車は、車の仲間に入るので、左側を通り、左側から乗り降りすることが大切であるということの説明がありました。最後に、忍たま乱太郎を主人公としたビデオを見て、自転車に乗る時に気をつけることや正しい乗り方について学びました。

